

2024 年度 授業計画(シラバス)

学 科		柔道整復師学科		科 目 区 分	専門分野	授業の方法	実習
科 目 名		臨床実習		必修/選択の別	必修	授業時数(単位数)	45 (1) 時間(単位)
対 象 学 年		3年生		学期及び曜時限	通年	教室名	2校舎附属施術所
担 当 教 員		河上修・川村智広・仲村剛・ 岩村一成・澤卓実・林了大		実務経験と その関連資格			
《授業科目における学習内容》							
付属施術所での実習を中心に患者さんへの問診から視診・触診・検査から施術方法を身につける。							
《成績評価の方法と基準》							
1.レポート(20%) 2.授業態度と参加度(80%)							
《使用教材(教科書)及び参考図書》							
PC、プロジェクター、各種計測機器等、厚紙副子、キャストライト等の固定材料 柔道整復学・理論編第6版および柔道整復学・実技編第2版							
《授業外における学習方法》							
シラバスを確認し、事前に内容の予習をすることが望ましい。 範囲・内容が広く多岐にわたるため、内容の詳細を担当教員に質問にくるように。							
《履修に当たっての留意点》							
臨床現場における柔道整復師の役割を認識し、医療面接から施術までの知識と技術を習得すること							
授業の 方法		内 容			使用教材	授業以外での準備学習 の具体的な内容	
第1回	実習形式	授業を通じての到達目標	施術所の衛生管理について理解できる		PC、プロジェクター、各種計測機器等、厚紙副子、キャストライト等の固定材料	実習後の復習と予習をしておくこと	
		各コマにおける授業予定	施術所の衛生管理と医療面接について				
第2回	実習形式	授業を通じての到達目標	医療面接について理解できる		PC、プロジェクター、各種計測機器等、厚紙副子、キャストライト等の固定材料	実習後の復習と予習をしておくこと	
		各コマにおける授業予定	施術所の衛生管理と医療面接について				
第3回	実習形式	授業を通じての到達目標	固定法を理解し、実施できる		PC、プロジェクター、各種計測機器等、厚紙副子、キャストライト等の固定材料	実習後の復習と予習をしておくこと	
		各コマにおける授業予定	キャストライト(ギプス)を用いた固定法				
第4回	実習形式	授業を通じての到達目標	固定法を理解し、実施できる		PC、プロジェクター、各種計測機器等、厚紙副子、キャストライト等の固定材料	実習後の復習と予習をしておくこと	
		各コマにおける授業予定	キャストライト(ギプス)を用いた固定法				
第5回	実習形式	授業を通じての到達目標	固定法を理解し、実施できる		PC、プロジェクター、各種計測機器等、厚紙副子、キャストライト等の固定材料	実習後の復習と予習をしておくこと	
		各コマにおける授業予定	厚紙副子を用いた固定法				

授業の方法		内 容		使用教材	授業以外での準備学習 の具体的な内容
第6回	実習形式	授業を通じての到達目標	固定法を理解し、実施できる	PC、プロジェクター、各種計測機器等、厚紙副子、キャストライト等の固定材料	実習後の復習と予習をしておくこと
		各コマにおける授業予定	厚紙副子を用いた固定法		
第7回	実習形式	授業を通じての到達目標	施術の手法を理解する	PC、プロジェクター、各種計測機器等、厚紙副子、キャストライト等の固定材料	実習後の復習と予習をしておくこと
		各コマにおける授業予定	診察(施術)導入(手法)		
第8回	実習形式	授業を通じての到達目標	施術の手法を理解する	PC、プロジェクター、各種計測機器等、厚紙副子、キャストライト等の固定材料	実習後の復習と予習をしておくこと
		各コマにおける授業予定	診察(施術)導入(手法)		
第9回	実習形式	授業を通じての到達目標	カルテ記載ができるようになる	PC、プロジェクター、各種計測機器等、厚紙副子、キャストライト等の固定材料	実習後の復習と予習をしておくこと
		各コマにおける授業予定	カルテ記載の概要・演習		
第10回	実習形式	授業を通じての到達目標	カルテ記載ができるようになる	PC、プロジェクター、各種計測機器等、厚紙副子、キャストライト等の固定材料	実習後の復習と予習をしておくこと
		各コマにおける授業予定	カルテ記載の概要・演習		
第11回	実習形式	授業を通じての到達目標	保険制度について理解できる	PC、プロジェクター、各種計測機器等、厚紙副子、キャストライト等の固定材料	実習後の復習と予習をしておくこと
		各コマにおける授業予定	保険制度概要(制度および法規)		
第12回	実習形式	授業を通じての到達目標	保険制度について理解できる	PC、プロジェクター、各種計測機器等、厚紙副子、キャストライト等の固定材料	実習後の復習と予習をしておくこと
		各コマにおける授業予定	保険制度概要(制度および法規)		
第13回	実習形式	授業を通じての到達目標	保険制度について理解できる	PC、プロジェクター、各種計測機器等、厚紙副子、キャストライト等の固定材料	実習後の復習と予習をしておくこと
		各コマにおける授業予定	保険制度概要(計算方法)		
第14回	実習形式	授業を通じての到達目標	保険制度について理解できる	PC、プロジェクター、各種計測機器等、厚紙副子、キャストライト等の固定材料	実習後の復習と予習をしておくこと
		各コマにおける授業予定	保険制度概要(計算方法)		
第15回	実習形式	授業を通じての到達目標	紹介状などの記載ができるようになる	PC、プロジェクター、各種計測機器等、厚紙副子、キャストライト等の固定材料	実習後の復習と予習をしておくこと
		各コマにおける授業予定	紹介状・礼状の記載方法演習(高診用)		

2024 年度 授業計画(シラバス)

学 科		柔道整復師学科		科 目 区 分	専門分野	授業の方法	実習
科 目 名		臨床実習		必修/選択の別	必修	授業時数(単位数)	45 (1) 時間(単位)
対 象 学 年		3年生		学期及び曜時限	通年	教室名	第2校舎附属治療所
担 当 教 員		河上修・川村智広・仲村剛・ 岩村一成・澤卓実・林了大		実務経験と その関連資格			
《授業科目における学習内容》							
付属施術所での実習を中心に患者さんへの問診から視診・触診・検査から施術方法を身につける。							
《成績評価の方法と基準》							
1.レポート(20%) 2.授業態度と参加度(80%)							
《使用教材(教科書)及び参考図書》							
PC、プロジェクター、各種計測機器等、厚紙副子、キャストライト等の固定材料 柔道整復学・理論編第6版および柔道整復学・実技編第2版							
《授業外における学習方法》							
シラバスを確認し、事前に内容の予習をすることが望ましい。 範囲・内容が広く多岐にわたるため、内容の詳細を担当教員に質問にくるように。							
《履修に当たっての留意点》							
臨床現場における柔道整復師の役割を認識し、医療面接から施術までの知識と技術を習得すること							
授業の 方法		内 容			使用教材	授業以外での準備学習 の具体的な内容	
第 16 回	実 習 形 式	授業を 通じての 到達目標	紹介状などの記載ができるようになる			PC、プロジェク ター、各種計測 機器等、厚紙副 子、キャストライト 等の固定材料	実習後の復習と予習を しておくこと
		各コマに おける 授業予定	紹介状・礼状の記載方法・演習(高診用)				
第 17 回	実 習 形 式	授業を 通じての 到達目標	実習を通して、施術の理解を深める			PC、プロジェク ター、各種計測 機器等、厚紙副 子、キャストライト 等の固定材料	実習後の復習と予習を しておくこと
		各コマに おける 授業予定	診察(施術)実習①				
第 18 回	実 習 形 式	授業を 通じての 到達目標	実習を通して、施術の理解を深める			PC、プロジェク ター、各種計測 機器等、厚紙副 子、キャストライト 等の固定材料	実習後の復習と予習を しておくこと
		各コマに おける 授業予定	診察(施術)実習①				
第 19 回	実 習 形 式	授業を 通じての 到達目標	実習を通して、施術の理解を深める			PC、プロジェク ター、各種計測 機器等、厚紙副 子、キャストライト 等の固定材料	実習後の復習と予習を しておくこと
		各コマに おける 授業予定	診察(施術)実習②				
第 20 回	実 習 形 式	授業を 通じての 到達目標	実習を通して、施術の理解を深める			PC、プロジェク ター、各種計測 機器等、厚紙副 子、キャストライト 等の固定材料	実習後の復習と予習を しておくこと
		各コマに おける 授業予定	診察(施術)実習②				

授業の方法		内 容		使用教材	授業以外での準備学習 の具体的な内容
第21回	実習形式	授業を通じての到達目標	柔道整復師として必要な心得を理解する	PC、プロジェクター、各種計測機器等、厚紙副子、キャストライト等の固定材料	実習後の復習と予習をしておくこと
		各コマにおける授業予定	臨床現場に出るために柔道整復師として必要な心得		
第22回	実習形式	授業を通じての到達目標	これまでの臨床実習の振り返りを行い気づきを得る	PC、プロジェクター、各種計測機器等、厚紙副子、キャストライト等の固定材料	実習後の復習と予習をしておくこと
		各コマにおける授業予定	振り返り		
第23回	実習形式	授業を通じての到達目標	これまでの臨床実習の振り返りを行い改善案を策案する	PC、プロジェクター、各種計測機器等、厚紙副子、キャストライト等の固定材料	実習後の復習と予習をしておくこと
		各コマにおける授業予定	振り返り		
第24回		授業を通じての到達目標			
		各コマにおける授業予定			
第25回		授業を通じての到達目標			
		各コマにおける授業予定			
第26回		授業を通じての到達目標			
		各コマにおける授業予定			
第27回		授業を通じての到達目標			
		各コマにおける授業予定			
第28回		授業を通じての到達目標			
		各コマにおける授業予定			
第29回		授業を通じての到達目標			
		各コマにおける授業予定			
第30回		授業を通じての到達目標			
		各コマにおける授業予定			